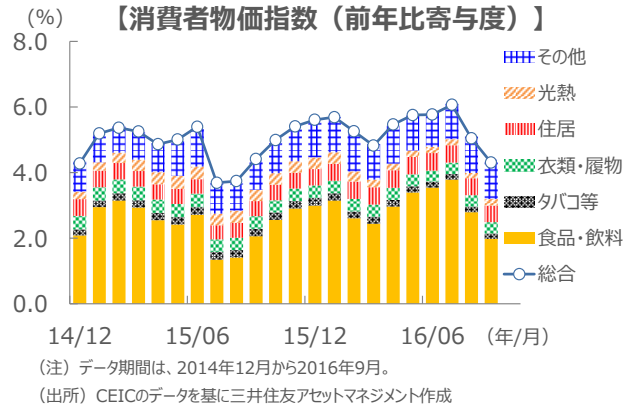


今日のトピック 最近の指標から見るインド経済（2016年10月）

自動車販売が加速、消費好調による経済拡大に期待

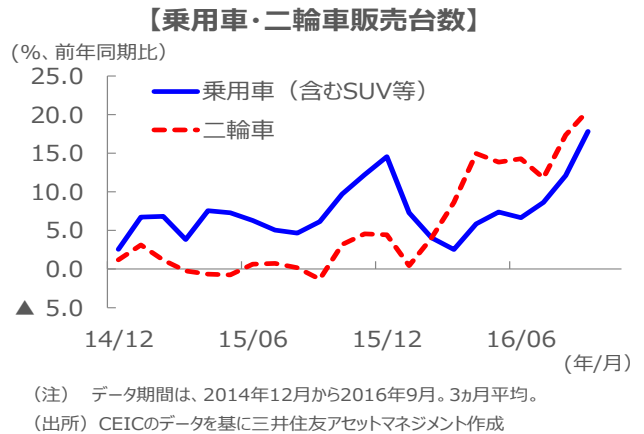
ポイント1 物価は連続で低下 引き続き食品価格の低下が寄与

- 2016年9月の消費者物価指数（CPI）は前年比+4.3%と、8月の同+5.0%から大幅に鈍化し、市場予想（同+4.6%）をも下回りました。
- 主に、食品のインフレ率が前年比+3.9%と、8月の同+5.9%から大幅に鈍化したことにより、8月から9月にかけてインフレ率（CPI）全体が▲0.82ポイント押し下げられたためです。



ポイント2 好調な国内自動車販売 公務員給与上げが寄与

- インドの9月の国内乗用車販売台数（含むSUV等）は27万8428台で、前年比+19.9%と、8月の同+16.7%から伸びが加速しました。
- 第7次給与委員会の勧告に基づく公務員賃金上げ（1～7月分も含め8月に支給）、農産物生産増加（順調なモンスーン降雨が背景）による農村部の所得見通し向上と自動車ローン金利の低下などが、販売押し上げに寄与したものと考えます。



今後の展開 景気は消費拡大が牽引

- 好調な自動車販売の伸びに象徴されるように、農産物生産増加による地方の所得向上見通しや、公務員賃金の引き上げを反映し、消費が拡大しています。インフレ低下による実質所得の上昇と相俟って年後半にかけて経済は勢いを増すと見られます。
- また、RBI（インド中央銀行）は、今後のインフレ低下を受けて利下げを行う可能性があります。消費の拡大による景気的好調に加え、インフレ低下による利下げも予想されることから、年後半にかけてインドの株式、債券、為替の堅調さが期待されます。

ここもチェック! 2016年10月 5日 インドの金融政策 半年ぶりに利下げ（2016年10月） 2016年 9月21日 インドのインフレ動向

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。